

お取引様 各位

## お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。  
毎々格別のお引き立てを賜り、ありがとうございます厚くお礼申し上げます。  
さて、このたびはご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にお応えいただき、誠にありがとうございます。

今回ご意見を頂戴した中で、一部ご紹介させていただきます。

『天候が乾燥しているせいか、何ヶ所かはすれてしまいました。リフィルしていただけますか?』

大変申し訳ございません。当社のFCCコーキング剤は施工時約百箇所、ゴキブリの発生しやすい場所へ施工いたしますが、場所によっては、清掃時などにはがれ落ちる場合があります。

その場合は当社施工スタッフが責任を持って再施工にお伺い致します。また、はがれ落ちた場合を考慮して、周辺に何ヶ所も施工しておりますので、万が一薬剤が落ちても駆除効果に大きな影響はありませんので安心下さい。

今後は、施工スタッフ一同、お客様にご不安を与えない細心の注意を払って施工いたします。心配をおかけして大変申し訳ありませんでした。

『夏のコバエが気になるので対応宜しくお願い致します』

承知いたしました。

コバエは1年間に発生ピークが3回あると言われています。3月～4月が「第1ピーク」6月～7月が「第2ピーク」9月～11月が「第3ピーク」です。

私たちは、夏だけでなく年間を通してコバエを確実に駆除いたします。

まずはお気軽にご相談下さい。お客様のお悩み事を解決させていただきます。

掲載スペースの関係で一部のご報告となります。多数のご意見をいただき大変ありがとうございます。いただいたご意見・ご指摘・ご鞭撻は今後の業務に生かしていきます。

宜しくお願い申し上げます。

敬具



2月よりアンケート調査を毎月行っております。  
引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらもご利用くださいませ。

お客様アンケート  
お問い合わせ専門FAXフリーダイヤル

見ないムシ

0120-32-3164

※一都八県以外はご利用出来ません。  
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

FCC News  
2013年4月号 No.0108



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム&社員コラム

季節のムシ暦(65)

エコキャップ回収のお願い

生活の豆知識

株式会社 FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail [info@fccsystem.co.jp](mailto:info@fccsystem.co.jp)

# 社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより

## 見えるもの

今年に入つてから休日は必ず出勤ですが、これが今私の精神衛生上とても良いのです。しかし、休みに出ると見えてしまうものも沢山あります。

なんでこれ気が付かないんだろう？片付けろよ！なんで出して（提出）ないんだ！？チェックしろよ！

会社に入ってまず色々気が付いてイライラします。一言でだらない。でも自分が源泉の考え方で言うと、自分の散いた種、自分の鏡なのかな～

そうだよな、責任感の問題なのかもしれない。私は会社や仕事が一番なので、それに気が付くし、最も真剣です。

でも家では女房に叱られてます。「なんでこぼすの！」「なんでガサツなの！」なんで、なんで…

で、なんでかって言うと、意外とどうでもいいから（笑）うるさい小言もハイハイって言つてれば、そのうち通り過ぎるなあ～、って。真剣味ゼロな訳です。

そうか社員もそうなんだ！！はっきり言ってどうでもいいんだな。だから無責任はどうでもいいってことだ。任せて責任を取れそうな奴には、思い切って責任配置しよう。

で、その後始末は絶対しないの。なにかあると社長お願いします、って。知らないよ。俺の仕事違うからし～らない。自分で解決しな。これに徹します。

最近、新しい事業所の開設で忙しくて施工にノータッチです。今まで放っとくと、お客様との責任を果たさなかったり、商売道具の管理までやらない始末でした。

最近、みんな土日祝日の休みを取っています。また1人新しい事業所の仕事のサポートに回しているのでスタッフ不足です。なので、一応施工管理上のすべての施工ファイルを確認しました。

出来ている！やるべきをやって休みを取っている。ならば堂々と休んでください。さすがです。そして少し遅れていると思ったら自発で、休日出勤をリーダーが入れています。

その代休も今の状況を考えて祝日に代休申請をしている。私たちはお客様のお役に立ち、お客様に貢献して対価を頂戴していることが分かつて来たようです。

新任のリーダーが成長して来ているのかもしれません。それと、私がノータッチなのが良い結果だったのかもしれません。

いずれにしても、仕事は私だけではできないので、みんなが責任をもって対応する大人の会社を作りますよ。

### パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にも FCCホームページには多くのブログがあり、業務の事や日常の出来事など様々なエンタリーが投稿されています。

気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスする事が出来ます。

# FCC社員コラム

タクツーブログより

## 刺激

昨日、年に1度開催されるお取引先の成果発表会に参加させて頂きました。

内容は、各店舗がお客様に喜んでもらうためにどんな取り組みをしているのかどんな思いで働いているのか等プレゼン形式で発表を行っていました。

正直、ものすごく刺激になりました。

以前も、こちらの会社の経営指針発表会にも参加させて頂いたのですが社員の方々は、自分と同い年か下ぐらいの若い方が多い中とても活力があり仕事に対してもお客様に対しても熱い方ばかりです。

学ぶ点が多くありました。

社員の方もアルバイトの方も関係なく全スタッフが本気で

「何をすればお客様が感動するのか」  
「何をすれば喜んでくれるのか」

工夫して考えています。  
終始、熱い、熱い、熱い発表会でした！

改めて自分自身を見つめなおす良い機会になりました。別の分野ではありますが、同世代の子があんなにも一生懸命で本気なんですから私も負ける訳にはいきません！！

頑張ります。

また、ぜひ参加させて頂きたいと思います。

## 【昨今のムシ恐怖症事情】

今年の干支は、「巳」の年と言う。この語の意は、「蛇」の略だそうだ。一般に、「ヘビ」は、縁起の良い動物と解されている。

人は、これに因んで、今年は「運」が向いて来ると喜んでいる人達がいる。この裏付けは、ヘビは脱皮をくり返し、新しい肌を形成していくからのようだ。

確かに、一皮むいた時の水々しさは、なんとも活力を感じるのは、間違いない。

だが、脱皮をして成長するのは、「ヘビ」に限るものでは無く、虫もそうなのだ。生き物が、脱皮をし、成長するのは、判り易い幸運現象ではある。

今年は、この「巳」の年だからと言う訳では無いだろうが、正月の早々から新聞に「虫」に関わる記事が、いやに目立つ。

早くも、暦の「啓蟄（ケイチツ）」を待たずに、“ダニ媒介の感染症で死者が出た”と言う報道があった。

近年、冬場に向かう頃から春先にかけて人の健康に関わる話題の記事は、ノロウイルスによる食中毒事故や花粉症への「御用心」記事ばかりで、やや食傷気味であった。

そんな時、「ダニ」で人が死ぬなどの記事を目にし、何故、今頃、ダニなのかと不思議に思った。ところが、間を置かずに、「ダニ」による死者が既に5人もあった事が、明らかになった。

しかし、今、多くの人は、都市化の中で生活し、「自然」と言うものを忘れてしまっている。

したがって、「ダニ」が住む世界など、一般の人には、想像も出来ないことが。しかし、人が死ぬと言うことは、不安情報として心に残っている。

こんな事もあって、この所、女性週刊誌やマスコミの取材や一般からの相談が、急増している。

問題のダニは、ダニと称するダニであって、このウイルスを全てのダニが持っているか否かは、今の所、不明である。

ダニ由來の病気は、昔から知られていることで、最もよく知られているのが、「ツツガムシ病」である。昔から旅に出る人を送る時には、つつがなき事を祈ったが、これは、ツツガムシ病に患ることなく、無事に帰ることを願ったものである。

この他には、マダニ刺症、マダニ以外のダニによるダニ刺症がある。また、通称「ニキビ」と言うが、これはニキビダニによる皮膚病なのだ。また、ヒゼンダニ症（カイセンとも言う）もダニによる病気なのだ。

今から約20年前に、今日、話題の「マダニ」による人体刺咬症について分析報告がある。

これは、日本全国から集めた796例の人体刺咬症を分析したもので、北海道、東北、関東、中部では、マダニが中心で、近畿以西は、フタトゲチマダニによるものである事が、明らかにされている。

また、一年中、刺すダニは、タカサゴキララマダニとキチマダニで、多くのマダニは3月頃に始まって、6月から8月をピークに、10月頃まで刺すことが判っている。

問題となる主要種は、地域によって違い、刺す活動期が、種類によって若干の違いのある事が知られている。

昔は、「風土病」と称する地方特有の病気の言い伝えがあったが、今、地方の崩壊によって危険情報が失われて、事故を生じてる。

ダニは、どこにでも生息してるので、これを恐れることなく、良く知ることが大切である。

マダニは、自分達の身近な場、草原、河川敷、家の庭などにも居る。

人は、虫世界の中で生活しているので、野外活動をする場合には、長袖や長ズボンで肌の露出をさせないことが大切だ。

もっと大切なのは、日常生活の場での地域の習慣には、意味があるので、大切にすることだ。

今日の虫恐怖症は、虫を知らなさ過ぎるための「弊害」である。今月の虫、ゆっくりと眺めてみよう。

## 【写真説明】

これはマダニです。  
無理をして引き放さないこと！！



# 生活の豆知識

## 発生する前のチョウバエ対策

厳しい寒さから暖かい春の陽気になってきました。暖かくなってくる今の時期、チョウバエの活動が徐々に活発になってきますので、早い内にチョウバエ対策を行いましょう。

チョウバエ対策では、いかにチョウバエが好まない環境にするか、が大切なポイントになります。

殺虫剤などで一度駆除を行っても、生息・繁殖しやすい環境のままであれば、再び繁殖してしまいます。

暖かくなり、活動が活発になりだす今の時期に、チョウバエが生息できない環境作りをしましょう。

チョウバエは、スカム(ヘドロ状の汚れ)やゴミに生息します。飲食店の厨房では、グリストラップや排水溝の側面の凸凹や、什器などに汚れやゴミが溜まりやすい傾向にあり、そこに卵を産みつけ繁殖し、大量発生してしまう原因になってしまいます。

発生原因はスカムやゴミですので、これらを取り除く事が、一番の予防方法になるのです。

什器下のゴミは、清掃の際に床に水を流す事で、手が届き難い奥へと流れ、溜まってしまいます。

それを予防する為には、落としたゴミを直ぐに拾い、水を流す前に床の掃き掃除を行い、

ゴミが落ちていない状態で水を流す事が大切です。

また、定期的に什器下をチェックし、什器下にゴミが溜まらない状態にしましょう。

スカムは水だけでは簡単に落とす事が出来ない為、大きな部分であればデッキブラシ、細かな部分であれば古くなった歯ブラシなどで擦り落としたり重曹やクレンザーを使用し、完全にスカムが無い状態にしましょう。

グリストラップや排水溝は特にスカムやゴミが溜まりやすい為、定期的(最低でも週1回)にチェックをし、清潔な状態を保つ事で、チョウバエが好まない環境になるでしょう。

厨房を清潔な環境にする事は、チョウバエだけでなくゴキブリを始めとした様々な害虫対策にもなります。

害虫は見た目も勿論不快に感じられますが、なにより食中毒の原因にもなります。食中毒予防の為にも厨房等は常に清潔な状態を保ちましょう。



## FCCエコ委員会 からのお知らせ



弊社では、ペットボトルのキャップを集めて世界の子供たちにポリオワクチンを届けるための運動を行っております。

ポリオワクチンは1人分 20円です。

エコキャップ800個で  
1人の子供の命が救えます。

皆様のご協力により、  
昨年度全体で113,600個の  
キャップが集まりました。

142人分のワクチンと交換できます。  
誠にありがとうございました。

何気なく破棄していた小さな資源が  
大きな優しさに変わります

今年度は100人分のワクチンを  
目標としております。

引き続き、エコキャップの収集を進めて  
参りますので、ご協力いただける方は  
ご一報くださいませ。

施工にお伺いした際に、  
お引取りさせて頂きます。

ご連絡お待ちしております！